

# 垣内 俊哉

Kakiuchi Toshiya

## ■ 略歴

2010年	立命館大学在学中に株式会社ミライロを設立
2014年	日経ビジネス「THE100-2014日本の主役」に選出
2018年	Japan Venture Award「経済産業大臣賞」受賞 「TEDxKyoto」スピーカー 登壇
2022年	財界「経営者賞」受賞 国家戦略特別区域諮問会議 有識者議員に選出



## ■ 経歴 & 活動内容

1989年、愛知県安城市に生まれ、岐阜県中津川で育つ。生まれつき骨がもろく折れやすいため、幼少期より車いすで生活を送る。自身の経験に基づくビジネスプランを考案し、国内で13の賞を獲得。

2010年、障害を価値に変える「バリアバリュー」を理念とし、大学在学中に株式会社ミライロを設立。障害者や高齢者のサポート方法を学ぶ「ユニバーサルマナー検定」や、障害者手帳をデジタル化した「ミライロID」など、DEIの実現に向けた様々な事業を展開。

国内のみならず、海外でもインクルーシブな社会の実現に向けた取り組みに携わる。2024年には、パリパラリンピックの開会式にて、日本選手団の先導役を務める。2025年3月24日、東京証券取引所グロース市場に上場。テレビ東京「Newsモーニングサテライト」、*「ガイアの夜明け」*、NHK総合「おはよう日本」などメディアへも多数出演。

株式会社ミライロ 代表取締役社長

日本ユニバーサルマナー協会 代表理事

日本財団パラスポーツサポートセンター 顧問

龍谷大学 客員教授

立命館大学 訪問教員

上智大学 非常勤講師

## ■ 書籍のお知らせ

『バリアバリューの経営: 障害を価値に変え、新しいビジネスを創造する』  
東洋経済新報社 (2024年10月30日) **新著**

『10歳から知りたいバリアバリュー思考 自分の強みの見つけかた』  
KADOKAWA (2022年3月2日)

『バリアバリュー障害を価値に変える』  
新潮社 (2016年3月18日)



## ■ ミライロの会社紹介

社会には、環境、意識、情報のバリアが存在します。これら3つのバリアを解消するため、障害者の視点を取り入れた設計や監修、教育研修、WEBアクセシビリティの整備などを行っています。国籍、性別、年齢、身体特性に関わらず、それぞれの経験や感性を活かし、個々の価値を最大化できる社会の実現を目指しています。

お問い合わせ ご相談、ご依頼はお問い合わせフォームよりご連絡ください。

ミライロ お問い合わせ





## バリアバリューへ

大学2回生の時、現副社長の民野とミライロの前身となる団体、Value Added Networkを立ち上げました。自身が大学選びの際に苦労した経験から、バリアフリーマップに関する事業を考案しました。多くのビジネスコンテストに応募し、13の賞を受賞。そこで得た賞金で、大学3回生の時に株式会社ミライロを設立しました。社名には、自由に描ける「未来の色」と自由に歩める「未来の路」を増やしたいという想いを込めています。また、社会性と経済性の両輪で事業を走らせる必要があると考え、株式会社としました。



## ユニバーサルマナーの普及

多様な方々へ向き合うためのマインドとアクションをお伝えする研修を、2013年にスタートしました。「できたらカッコいい」と思えるような文化にしたいとの願いを込めて、「ユニバーサルマナー」と名付けました。予算やスペースの都合で環境を変えることが難しくても、意識を変えるだけで多くの問題を解決できます。「ハードは変えられなくても、ハートは変えられる」をコンセプトに、企業や教育機関だけでなく、個人の方へも波及しています。



## デジタル障害者手帳とDX

障害者手帳を提示する時、「すみません、障害者手帳あります」と、枕詞が「すみません」になることが少なくありません。もし、「ポイントカードあります」といった具合に、気楽に伝えられたら、心理的負担が軽減されるかもしれない。この想いを形にすべく、2019年にデジタル障害者手帳「ミライロID」をリリースしました。導入事業者は少しずつ増え4,100社（2025年7月現在）を突破しています。多くの人の支えがあり、共感の輪が急速に広がっています。



## 上場までの道のり

2025年3月24日、東京証券取引所グロース市場に上場しました。セレモニーでは東証の協力で、車いすに乗ったまま鐘を叩けるようステージとスロープを設置いただきました。これは東証の長い歴史で初めてのことだそうです。中学生の時、通学路に小さな段差がありました。それを知った先生や友人と一緒に舗装してくれ、車いすで通学できるようになりました。数年前、故郷の中津川で友人が開いたお店を訪れた際も、入口に手作りのスロープがありました。周囲の人が手を差し伸べ、環境を整えてくれたおかげで、私はここまで歩み進めることができています。

## 未来の色、未来の路

障害者差別解消法の改正法施行や社会全体の気運の高まりから、追い風が強くなっています。ハードも、ハートも、デジタルも、あらゆる課題を解決し、誰もがバリアをバリューにできる社会へ。それに向けて、信じた未来の色を描き、一歩ずつ未来の路を歩んでいます。